

※添削課題は問 2 のみです。解答用紙に、問 2 の解答のみ記述して提出してください。

添削課題

日本の漁業・漁港に関する以下の設問に答えなさい。

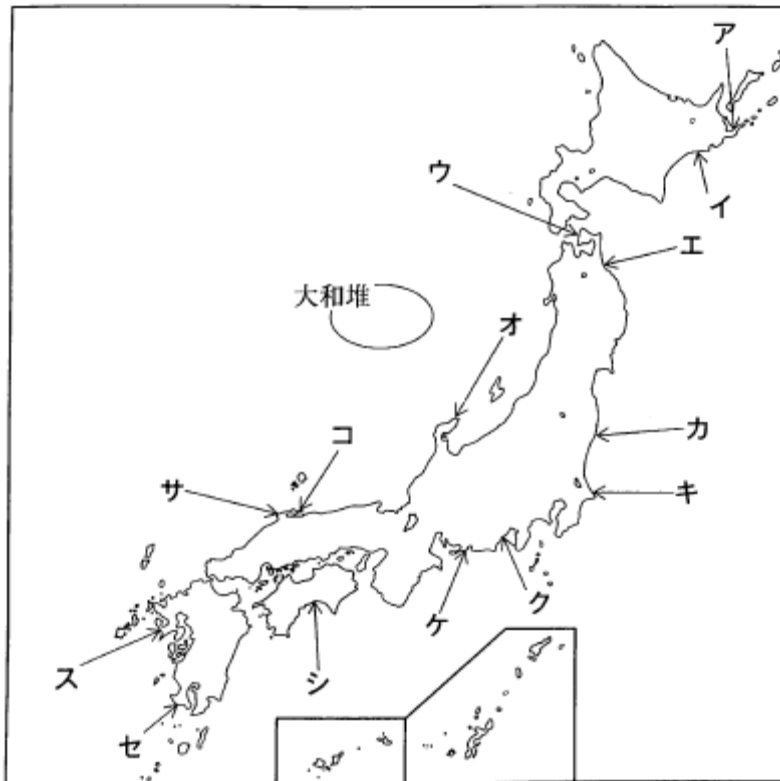
問 1 下の表は 2011 年の日本の漁港別水揚量と魚種別割合を示したものである。関連事項を参考にして、表中の A～E に当てはまる漁港名を【漁港名群】から選び、漁港名を答えなさい。また、その漁港の位置を下の図のア～セから選びなさい。

	水揚量 (千t)	水揚量に対する魚種別割合 (%)		関連事項
A	226	いわし類 (50.8)	さば類 (22.6)	犬吠埼
B	202	かつお類 (63.5)	まぐろ類 (25.7)	大井川
C	121	たら類 (62.0)	さんま (23.3)	タンチョウヅル
D	120	いか類 (45.8)	さば類 (39.0)	やませ
E	83	かつお類 (37.3)	さば類 (31.5)	鯉節

(出典：『地理統計要覧2017年版』ほか)

【漁港名群】

釧路 銚子 八戸 枕崎 焼津



問2 前ページの図の大和堆（大和海嶺）付近の海域が、日本海有数の漁場となっている理由を、「プランクトン」と「潮目」という語句を使って、100字以内で説明しなさい。

問3 前ページの表中の魚種には、さけ・ます類があがっていない。また、2015年の日本における魚種別漁獲量（海面漁業）上位10種について示した下の表でも、さけ・ます類は全体のわずか4.0%で第9位となっている。日本の食卓に並ぶ頻度の高いさけ・ます類の日本における漁獲量が多くない理由を推測して50字以内で説明しなさい。

魚種	千トン	%
いわし類	667	18.9
さば類	565	16.0
かつお類	260	7.4
ほたて類	233	6.6
たら類	231	6.5
まぐろ類	181	5.1
いか類	168	4.7
あじ類	167	4.7
さけ・ます類	140	4.0
ぶり類	122	3.5

（出典：『データブック オブ・ザ・ワールド2017』）